

【重点目標】 (1)中高一貫教育校の特長を生かし、学び方や生き方の質を高め、一人一人のよさを引き出し、認め、伸ばすために指導の工夫・改善を図る。			
具体的な取組	実現状況の達成度判断基準	結果	・分析(成果と課題)及び○改善策
1-1 「特長」 中高一貫教育校の特長の1つである中高間での交流活動を通して、将来について考えたり、新たな目標や課題などを発見したりするなど、自身のキャリアを常に意識した生徒を育成する。	様々な高校生との交流活動は、自分の中学校生活やキャリア設計に役立っていると思う。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート⑬ 肯定的評価90% 【判定:A】	・肯定的評価は、90%であり、A評価「よくあてはまる」も52%と半数を越えていた。1・3年生においても、A評価がともに50%を越える高い数値であった。近年、行事だけでなく、総合等の教科でも交流が増えており、より高校生を身近に感じる機会が増えてきていることが原因と考えられる。 ○今後も、様々な場面での交流活動が行えるよう高校とも連携して取り組みを増やしていきたい。
1-2 「特長」 中高一貫教育校のメリットの1つである時間のゆとりを活かし、資格取得や各種コンクール等への積極的な参加を促し、自ら学び、創造性を伸ばそうとする生徒を育てる。	英検の取得率(4級は中2、3級は中3、準2級は高1レベル) 1年 2年 3年 A 4級50%以上 3級55%以上 準2級40%以上 B 4級45%以上 3級45%以上 準2級30%以上 C 4級40%以上 3級35%以上 準2級20%以上 D 4級40%未満 3級35%未満 準2級20%未満		・今年度、6月の第1回の検定の結果、1年生4級が13%、2年生3級が18%、3年生準2級が14%の取得率である。
1-3 「質を高める」 中高一貫教育校に学ぶ生徒として誇りを持ち、気持ちのよい挨拶と礼儀・礼節を大切にするとともに、時間や期限を守ることを通して、社会に通用する人材を育成する。	誰に対しても、自分から挨拶ができる。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート⑩ 肯定的評価85% 【判定:B】	・どの学年においても、肯定的評価は、80%を越えている。ただし、A評価「よくあてはまる」と回答した生徒は、1年生で約40%、2・3年生で約30%となっている。 ・D評価「まったくあてはまらない」と回答する生徒は、1%でほとんどいない状況である。 ○挨拶を行う意識は、ほとんどの生徒は持っているので、実践することで、挨拶のよさや意義を再確認できるような取り組みを行っていきたい。
	提出物や課題は、期限を守って提出している。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート④ 肯定的評価90% 【判定:A】	・肯定的評価は、90%であり、A評価「よくあてはまる」については、1年生46%、2年生58%、3年生64%と学年が上がるごとに増加している。 ○引き続き、フォーサイトを活用し、計画的に課題等をこなしていく指導を続けて行きたい。
1-4 「よさを引き出す」 生徒一人一人のよさを引き出し、認め、伸ばす教育を推進し、「自己有用感の高い生徒」を育てる。	「自分にはよいところがある。」と感じている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート⑥ 肯定的評価84% 【判定:B】	・肯定的評価は、84%と比較的高い数値であった。A評価「よくあてはまる」については、1年生は50%を超えており、2年生は37%、3年生は43%という数値である。 ○2年生については、自分を客観的に見ていく段階にあり、教科・総合・キャリア教育など、教育活動全般で自分のよさを見つけ認めていく指導や声かけを続けていきたい。
	生徒のよさを引き出し、認め、伸ばしていくような手立てや工夫など、積極的生徒指導を行っている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	教職員アンケート 教育活動④ 肯定的評価100% 【判定:A】	・肯定的評価は、100%であり、A評価「よくあてはまる」についても78%と高い数値であった。 ○結果に満足することなく、指導の内容について、手立てや工夫が生徒にとって適切であったかなど、今一度ふり返りを行いながら指導していきたい。

<p>【重点目標】 (2)学校研究の一層の充実を図り、令和の日本型学校教育を実践し、本校が今年度の目標とする生徒像、「自ら進んで学ぶ」「規範と人権」「レジリエンス」、を身に付けさせ、自己実現に向かって日々努力する生徒の育成を目指す。</p>			
具体的取組	実現状況の達成度判断基準	結果	・分析(成果と課題)及び○改善策
2-1「生徒に授業の大切さを伝えるとともに、「分かる楽しさ」「できる喜び」「学ぶ面白さ」が味わえる授業づくりに努める。」	教材研究に取り組み、「授業がよくわかる」と回答する生徒を増やせている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート② 肯定的評価93% 【判定:A】	・肯定的評価は、93%と高い数値であった。A評価「よくあてはまる」については、どの学年でも40%を越えている。また、D評価「まったくあてはまらない」と回答した生徒はいなかった。 ○引き続き、生徒を主体とした授業が展開されるよう、研鑽を続けていきたい。
2-2「令和の日本型学校教育」 令和の日本型学校教育の実施に関わる 「錦丘授業スタイル」を実践する。	「錦丘個別最適な学び」を単元や1時間の授業の中で位置づけ、授業を展開することができている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	授業・学習アンケート (教師) 肯定的評価100% 【判定:A】	・肯定的評価は、100%であり、A評価「よくあてはまる」においても69%と高い数値であった。 ○今年度からの共通実践であるため、内容は十分とは言えないが、まずは実践し、課題を共有しながら、次に繋げていきたい。
	授業の途中や最後に、それまでの学習を振り返る場面(錦丘リフレクション)が設定されている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	授業・学習アンケート (生徒) 肯定的評価100% 【判定:A】	・肯定的評価は、100%であり、A評価「よくあてはまる」についても、どの学年でも70%を越える数値であった。 ○「個別最適な学び」同様に、内容の質のレベルを上げていきたい。
	授業中、ICTを効果的に活用することで、自他の考えを広げたり、深めたりすることができる。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	授業・学習アンケート (生徒) 肯定的評価95% 【判定:A】	・肯定的評価は、95%であり、A評価「よくあてはまる」についても59%と高い数値であった。 ○授業で活用していると感じている生徒が多いことが分かる。引き続き、効果的な活用について、教材研究を深めていきたい。
「自ら進んで学ぶ」 授業で生徒が、意欲的な姿勢で取り組めるよう指導・工夫する。	自ら進んで課題について考えたり、意見を交流したりするなど、意欲的に学習に取り組んでいる。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	授業・学習アンケート (生徒) 肯定的評価96% 【判定:A】	・肯定的評価は、96%であり、A評価「よくあてはまる」についても60%と高い数値であった。 ○生徒の興味関心を引きつけるような課題設定や自ら学びたいと思える授業展開など、引き続き教材研究を進めていきたい。
2-3「規範と人権」 ルールやマナーの大切さを伝えるとともに実生活で実践していくような生徒を育成する。	学校生活の様々な場面で「中学校生活のきまり」を守って生活することができている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート⑪ 肯定的評価98% 【判定:A】	・肯定的評価は、98%であり、A評価「よくあてはまる」についても59%と高い数値であった。 ○高い規範意識のなかでの生活を続け、錦丘中学生としての誇りを持って活動できるよう、引き続き指導を続けていきたい。
「レジリエンス」(折れない心・しなやかな心) 困難なことがあるときに、解決に向け自分ができることを考え、実践に移していくような生徒を育てる。	難しい課題や困難なことがあったときに、諦めずに取り組んだり、別の方法を考えたりするなど、ねばり強く柔軟に対応することができている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート⑤ 肯定的評価91% 【判定:A】	・肯定的評価は、91%であり、A評価「よくあてはまる」については、どの学年でも40%を越える数値であった。D評価については、3年生に1%のみで他学年ではいなかった。 ○引き続き、課題に対して多角的・多面的に解決策を考えられるような手立てや声かけを行っていきたい。
2-4「自己実現に向かって日常を過ごす生徒」(キャリア教育) 総合的な学習の時間や特活の時間を中心に6年間を見通したキャリア教育を実践し、生徒の視野を広げ将来の夢や目標について考える取組を行う。	キャリア的行事は、自分の将来を考える機会となっている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート⑬ 肯定的評価90% 【判定:A】	・肯定的評価は、90%であり、A評価「よくあてはまる」については、1年生56%、2年生44%、3年生54%と結果が示すとおり、高校生との交流活動は、多くの生徒が自身のキャリア設計に役立つを感じている。 ○来年度に向けて、さらにレベルアップしていくよう取り組み内容など、高校とも協議しながら考えていきたい。
	将来の夢や目標に向かって努力している。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	生徒アンケート⑨ 肯定的評価77% 【判定:C】	・肯定的評価は、77%であった。A評価「よくあてはまる」については、1年生は41%、2年生は31%、3年生は35%であった。また、C評価「あまりあてはまらない」と回答した生徒が19%であった。 ○具体的な夢や目標を持っていなくても、それを見つけることも努力の一つであること、6年間という錦丘の強みを活かしながら考えることができる生徒に伝え、考えさせたい。

【重点目標】 (3)生徒の自己実現の醸成の場となるよう、日頃から危機管理の意識を高め、安心・安全な学校づくりを目指す。			
具体的な取組	実現状況の達成度判断基準	結果	・分析(成果と課題)及び○改善策
3-1 「危機管理」 防犯、防災教育に関する研修等を通じて、事故・事件、災害等に対して、組織的に教職員が対応できるよう教職員の意識を高める。	問題行動や事故等が起きたとき、早期対応・組織的対応ができる。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	教職員アンケート 教育活動⑥ 肯定的評価94% 【判定:A】	・肯定的評価は、94%であった。A評価については41%と比較的高い数値であった。 ○問題等に対して先生方は、早期に丁寧な対応を行っていた。引き続きアンテナを高くした状態で対応していきたい。
	合同避難訓練や研修等を通じて、防災意識が高まったと感じている。 肯定的評価が A90%以上 B80%以上 C70%以上 D70%未満	教職員アンケート 学校経営④ 肯定的評価100% 【判定:A】	・肯定的評価は100%であった。 ○訓練や研修などの他、安全点検や環境整備においても、しっかりと対応している。定期的な働きかけを継続して行っていきたい。
3-2 「安心・安全」 望ましい人間関係づくりといじめを見逃さない学校づくりに取り組み、問題があれば組織的に対応する。	「学校が楽しい」と感じる生徒を増やすとともに、生徒観察や定期的なアンケート等をとおして実態把握に努め、小さな変化にも組織的に対応している。 肯定的評価が A100% B95%以上 C90%以上 D90%未満	教職員アンケート 教育活動⑤ 肯定的評価100% 【判定:A】	・肯定的評価は100%であった。A評価「よくあてはまる」についても、56%と高い数値であった。 ○ささいな出来事や小さな変化でも反応できるよう、引き続き、高い意識で対応していきたい。